

10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

国立公文書館	
分類	
	返 赤
配架番号	3 A
	14
	82-4-1

NA A 14167

極秘

自昭和十六年二月二十八日  
至昭和十六年二月二十八日

月

報 (二月分)

北支那方面軍司令部參謀部第四課

1 OCT 17  
COPY 1957

国立公文書館	
分類	
配架番号	82-4-1

國 布 區 分

參謀本部、陸軍省、總軍	各五
部 内 (參謀部第一、二、三課、第二課調査班、報道部、副官部、經理部)	各一
駐蒙軍	一
第一軍	九
第十二軍	八
直轄師團	各一
獨立混成第十五旅團	一
支 隊 司	一
天津特務機關	二
河北省、北京、石門、新鄉、河南省、山西、太原、運城、臨汾、蘇北	各一
濟陽、濟南、濰縣、洛安、海州、陽泉、芝罘、歸德、邯鄲特務機關	一
豫 備	九
計	七五

附記 第一軍、第十二軍ハ特務機關ヲ係兵團ニ一部宛送付サレ度

目 次

第一章 政務關係事項

一、北京特務機關ヲ直轄トシタル件	一
二、省、特別市長會議ニ關スル件	一
三、滕、魚台、沛縣行政區劃改編ノ件	二
四、縣公署成立ニ關スル件	三
五、日本語ノ普及徹底ニ關スル件	四
六、二月末ニ於ケル縣政恢復及道縣連絡員、同輔佐員數一覽表	七
第二章 渉外關係事項	
一、在天津米商「ニコルス、チャイニーズ、ラツク」商會所有羊毛押收ニ關スル件	八
二、米商人所有舊法幣沒收ニ關スル件	九
三、江蘇省新浦鐵「スタングード」石油販賣制限ニ關スル件	一〇
四、山西省離石居住諸成人宣教師「ベターホール」檢舉取調ノ件	一一

五 立哨中歩哨毒故ニ付スル件 一〇一

六 日本人「ウエンハム、ホル」地下室侵入調査件 一一一

七 英人引揚状況調査依頼ノ件 一二一

第三章 交通関係事項 一三二

一 三月分物資検査前送ニ就テ 一四一

二 一月分物資検査後送ニ就テ 一五一

第四章 産業經濟ニ係ル事項 一五九

一 物資對策關係 一六〇

二 貿易關係 一七一

三 事業審査關係 一七五

第一章 政務關係事項

一 北京特派機關ヲ直轄トシタル件

方軍作命戊辰第八號ヲ以テ二月二十日ヨリ北京特派機關ノ獨立混成第十五旅團配屬ヲ解キ方面軍ノ直轄ト爲シ北京特別市ノ市政指導ニ任セシムルト共ニ警備治安（渉外關係事項ヲ含ム）及道縣政ノ指導ニ關シテハ全旅團長ノ區處ヲ受ケシムルコトトセリ

二 省、特別市長會議ニ關スル件

茲北政務委員會ニ於テハ管下省長、特別市長會議ヲ二月七日ヨリ十日迄四日間開催シ委員長及各總署督辦以下關係官出席シ委員長ノ訓示ニ始リ各總署督辦ノ政務指示出席省市長ノ狀況報告及提出議案ノ審査並ニ總議等ヲ以テ終了シ會議ノ經過順列ニ述ビ茲ニ所期ノ目的ヲ達シタルモノト思科ス

尙本會議ヲ總會ニ平田恭三團長列席シ世界情勢殊ニ太平洋問題ニ關シ約一時間半講演ヲ行ヒタリ

出席省市長左ノ如シ

河北省	吳	賞	周
山東省	唐	仰	社
山西省	蔣	禮	仁
河南省	陳	懲	齋
天津特別市長	馮	世	珍
青島特別市長	趙	瑛	
北京特別市長	代	理	秘書長
蘇北行政專員	劉	以	琳(列席)
	吳	承	湜(市長病氣缺席)

三、陸、魚臺、沛縣行政區變改編ノ旨

山東省滕縣、魚臺縣及蘇北邳州沛縣ノ行政區劃改編ニ關シ當分ノ旨  
 微山湖ヲ以テ境界トシテ別團(管轄)ノ如ク彼此兩岸飛地ヲ近接  
 ノ行政下ニ結合スルコトニ定メタル旨仁集團ヨリ報告アリタルニ付  
 左記(一)ノ如ク仁集團(二)ノ如ク與西院蘇北運糧部ニ通達セリ

左記

(一) 實地ニ於テ大綱ヲ決定シ細部ニ關シテハ警備兵團(機關)ニ於テ  
 協議決定ノ上支那領土機關ヲ指事スル如ク依命通達セラレアリ現地  
 ノ情勢上已ムヲ得サル處置ト思惟スルモ地方行政區劃ハ複雜ナル  
 地方事情ヲ基調トシ定メラレタルモノナルヲ以テ將來此種事案ノ  
 處理ニ當リテハ先ツ地方事情ニ精通セル支那側行政機關ヲ表面ニ  
 立テシメ實ハ之カ内面運道ニ當ル如ク注意相成厩

(二月五日方軍六四密第一一二號仁集團宛)

(二) 縣行政ノ執行ヲ容易ニシ地方治安ノ向上ニ資セシムル爲當分ノ  
 縣行政區劃ヲ別團(管轄)ノ通改編スル如ク省公署以下ヲ指事ス  
 タル旨飯田部隊隊長ヨリ報告アリタルニ付通達ス

(二月五日方軍六四密第一一二號蘇北運糧部宛)

四、縣公署成立ニ關スル旨

河北省冀南道東明、濮陽縣ノ治安維持等ハ愈々緊要シ一月二十二日

縣公署ノ設立ヲ見二月四日成立祝典舉行セラレタルニ依リ縣長ヨリ  
左記ノ通祝電ヲ發セリ

(二月四日方報四號第一四二號)

左記

貴縣公署成立式典ヲ舉行セララルルニ當リ衷心ヨリ嘉祝ノ意ヲ表シ併  
セテ將來皇軍トノ提携協力ヲ益々緊密ニシ縣政ノ飛躍的發展ヲ招來  
セラレンコトヲ祈ル

又日本語ノ普及徹底ニ望ムル也

北支ノ治安快復及中小學校ノ復興ト相俟ツテ日本語ノ普及熱意ヲ順  
調ナルモ未タ所望ノ域ニ達シ居ラサル現況ニ鑑ミ與亞亞北支總務  
ヲシテ教育總署ヲ指導セシメ之カ徹底ニ期シ各省市教育廳局長並左  
記ノ通訓令セシメタリ

左記

查スルニ東亞新秩序建設ハ本來經濟文化等ノ各方面ニ於テ東亞各民

族ノ協和提携共存共榮ヲ望ムルヲ以テ日語ト爲シテ語文ノ交流ハ  
固チ最重要ノ手段ナリ此ノ故ニ事變後特ニ日語ヲ主要課程ニ認定シ  
ラレ教員招聘ニ付テモ語文教學ノ困難ニ當リ且發音正確ナルヲ日本  
ノ事情ニ考慮セル者ヲ選擧スヘキ處今ヤ各省市公私立冬派中小學校  
ハ此ノ三年來次第ニ復興シ漸次増加シ居ルガ各私立冬派中小學校ニ於  
ケル日語班次ハ前臨時政府所定ノ標準時數表ニ準據シテ設置シ居ル  
ヤ否ヤ或急務至親等極度尙日語教學ヲシテ應得ニ適應セシムルノ  
由ニ因テハ毎々人材缺乏ノ虞アリ、今更ニ優秀教員ヲ選擧シ發展ノ効  
果ヲ増進セシムル爲各省市內公私立冬派各級學校ニ於テ日語教員ヲ招  
聘スル場合ハ既往ニ於テ五規ノ規定ニ合符セル者及既ニ招聘中ノ中  
心籍教員ヲ除ク外今後ハ必ズ其ノ地方ノ如何ニ關ハス奉被醫匠相當  
ナル日籍教員ヲ選擧招聘シテ教師ト爲シ以テ日語教學上ノ裨益ヲ一  
ラシコトヲ期スヘシ、尙此ノ道日籍教員ノ招聘手續ニ付テハ並ニ主  
管教育廳局ト協同調整其ノ選擧標準ト共ニ期望ヲ作成當該局ヘ報告備

総セラレ  
方訓今ス

六二月末ニ於ケル縣政恢復及道縣連絡員同輔佐員數一覽表

省地區別	總縣數	同 上 内 譯	道 連絡員	縣 同 上 輔 佐 員	計
河北省	一〇五	一〇二	〇	三	一〇八
山東省	九二	六三	一一	九八	一四六
山西省	四二	三六	一一	七二	九二
河南省	三三	二六	二	三九	五九
蘇淮北地區	一七	一六	〇	二六	二九
合計	三九六	三四七	二五	三六七	四九三

備考、本年に入り縣政恢復シ縣公署成立シタル縣左ノ如シ

一月 七日	山東省	郟城縣
一月 十五日	河南省	考城縣
一月 二十日	河北省	南樂縣
一月 二十二日	同	濮陽縣、東明縣
二月 九日	河南省	滑縣
二月 二十六日	河北省	清豐縣

第二章 渉外關係事項

一 在天津米商「コロルス、チャイニーズ」の商會所有羊毛押收ニ關スル件

日 時 昭和十五年十月二十三日  
場 所 天津第一區小王莊被用所

夫 解 疾

先月申入レアリタル本件ニ關シ調査ノ結果十月二十三日天津第一區  
小王莊被用所ニ於テ特別警察局長其邊中ナル自動貨車ヲ發見檢査シ  
訊問ノ結果該山羊毛ハ米商「コロルス、チャイニーズ、ラツク」商  
會ノ所有品ナルコト判明ス依テ清水部隊ニ於テ該品ヲ檢査セル所實  
需不適落品ナリシニ付十一月十二日荷主ニ返却スルコトシ市內  
送許可原及寬需不適證明願ノ手續方法ヲ說明シ様式用紙ヲ備ヘ之ニ  
記入スヘント申渡ヘタルニ荷主ハ一應歸宅ノ上罰製シ提出スルトテ  
歸宅セルモ十二月二十一日米商領事館通譯岩崎某ヲ通シ無條件ナラ  
ハ受取ルモ許可願ツテ受取ル後ナラハ受領シ得スト回答セリ



右ノ如キ事情ナルヲ以テ軍トシテハ先方市内陸路許可證及軍需品  
不適宜明願ノ手續方法ヲ採リタル場合ニ於テ本條羊毛ハ返還スヘシ  
尙本公ハ北支鐵工業材料製造出納規定ニ照準スルモノニシテ今此  
種事案生起ノ場合ニ於テモ軍ハ一般貿易業者カ本規定ノ實行ニ協力  
スル限り規定ノ許シ得ル範圍内ニ於テ便宜供與スル用意アル旨先方  
ヘ申入レタリ

三、米穀人所有舊法幣沒收ニ關スル件

日時 昭和十五年十二月二十四日

場所 寧浦線第一〇二號列車内

未解決

本件ニ關シ調査ノ結果先方ノ申入ハ事實ト相違シ居ル旨判明セリ即  
チ本條ハ十二月二十四日寧浦線第一〇二號列車乗車中ノ憲兵車内積  
置積載中「上海英租界東京路九〇 洋服商 倉屋三」ナル者法幣百  
九十元ヲ兩脚籠下内ニ隠匿シアルヲ發見シタルヲ以テ説諭ノ上領戻

セリ、其際隣席ノ米人「バグマン」ニ對シ旅券ノ提示ヲ求メタル  
ニ所持シアラストテ上海陸路隊發行ノ通行證ノミ提示シタルヲ以テ  
無旅券旅行ノ不可ナルヲ諭シ更ニ法幣ノ所持ニ關シ尋ネタルニ靴下  
内ニ隠匿シアリタル法幣百元ヲ提示セリ、依ツテ「北支ニ於テハ法  
幣ハ流通禁止セラレアリ」ト諭示シ任意提出方促シタルモ「歸  
陸ノ旅費トナス」トカ或ハ「他ニ所持金ナキ爲 困窮ス」トテ捏辯ヲ  
弄シ肯セザリシ爲憲兵ハ分隊ニ任意出頭ヲ索メタル處漸ク其ノ非ヲ  
認め旅券ニ關シ便宜供與ヲ懇願スルト共ニ該法幣ヲ任意提出セルモノ  
ナリ、依テ先方ノ申入レハ事實ト相違アル旨二月八日對ニテ先方ニ應  
答セリ

三、江蘇省新浦鎮「スタンダード」石油販賣制限ニ關スル件

日時 昭和十五年十二月

場所 江蘇省新浦鎮

未解決

本館ニテシテ營業米穀大使館ヨリ日本大使館ヲ通シ江蘇省新濟縣所在  
 「スタンダード」石油會社代理店ハ昨年十二月同地官憲ヨリ「現今  
 石油ノ販賣ニハ許可證ヲ要ス」ト通告セラレ更ニ十二月十八日江蘇  
 鎮總商會理事長小森某ヨリ「石油ノ輸入月量ヲ制限スヘキコト並ニ  
 其販賣先及ヒ運搬ハ官憲ニ依リ指定セラレヘキコト」ヲ通告セラレ  
 タリ又十二月二十一日江蘇鎮總商會兵隊ハ右代理店ニ對シ「最近輸入セ  
 ラレタル石油一三二三箱ハ無許可證輸入ナルニ付當然押置セラレヘキ  
 モノナルモ今回ニ限り特ニ許容スル旨ヲ告ケ更ニ右通告ヲ承諾ス  
 ル意味ノ文章ニ署名セシメラレタリ斯ノ如キ「スタンダード」石油  
 會社ノ正當ナル營業ニ對スル干渉ヲ早急停止セシムル機手配相成ル  
 旨申入レアリタルヲ以テ目下官憲調査中ナリ  
 岡山重省陸石居住諸商人室後函「ベダー、ホール」檢舉取調ノ由  
 日時 昭和十五年十二月二十日  
 場所 山西省離石

解決

本件ニ關シテ昨年末來引續キ調査中ノ所抗日行爲明瞭トナリ當然嚴  
 罰セラルヘキ處ナルモ本人「ベダーホール」カ特ニ遺憾ノ意ヲ表シ  
 爾後斯ル事件ヲ絶對ニ惹起セサル事ヲ誓約セルニ付特別ノ詮議ヲ以  
 テ之ヲ釋放スル事トシ本件ハ一先ツ解決セリ  
 五立哨中歩哨事故ニ關スル事

日時 一月三十日  
 場所 北京市内

未解決

本館ニ關シテ當地米穀大使館ヨリ日本大使館ヲ通シ美領長老教會附屬  
 病院ノ一看護婦カ一月三十日午前六時ト五分頃出勤途中北城ノ東  
 部ニ於テ勤務中ノ武装セル日本軍歩哨ニヨリ通行妨害セラレタル旨  
 申入レアリタルヲ以テ目下官憲調査中ナリ  
 六日本人「ウエンハム、ホール」地下室侵入調査ノ由

日時 二月三日  
場所 北京市内

未解決

本報ニシテ、シ管領米西大使館ヨリ日本大使館ニ通シ二月三日午後七時  
頃泥酔セル平服ノ一日本人カ男子並生寮一ウエンハム、ホールノ  
西壁ヲ破テ入り下室ニ入り込ミ動洋中ノ火夫及其他ニ暴行ヲ加ヘタ  
リト申入レアリタルヲ以テ目下管領調査中ナリ

七英領人引揚状況調査依頼ノ件

在上海英國大使ハ二月十七日附ヲ以テ日本軍占領地内ニ在住スル英  
領人ニシテ所用ナキモノハ成ルヘク引揚ル豫言ヲ發セル旨ノ情  
報ニ接シタルヲ以テ情報確定資料訂時報告アリ既旨下郵局ヘ送廉  
セリ

第三章 交通關係事項

一、三月分切實發給計畫ニ就テ

第一、鐵道ニ據ル發給計畫

(一) 軍需品 (除石炭)

日 額 四三九車 (内一五車ハ特殊貨車)

(二) 農用品 (除石炭)

日 額 三十七車 (内二三〇車ハ專用列車ニ據ル麥利計畫)

(三) 民需品 (除石炭)

日 額 一九八車

計 日 額 二〇一車

但シ

宣化發鐵礦石塘沽 (召管局發頭) 日 額 三〇車

石京田河 " " 五車

唐山曹莊・朱各發製糖局 塘 沽 宿 " 三〇車

願泉	天津	永定門	通州	日	一五車
蘆溝橋	永定門	通州	日	二二車	
太原北站	山	山	山	三車	

口、移入 (日額)

イ、城區内 五一、一車

ロ、城區外 一六、五車

計 七三、六車

2. 鐵道用 (日額) 二九二、〇車

3. 其他 (日額) 一一四、〇車 (内五、〇車ハ「コークス」檢送)

口、移入出用

日本向 五九九、一車

滿洲向 四四、〇車 (内一、〇車ハ「コークス」檢送)

中文向 一七〇、〇車 (内三、〇車ハ「コークス」檢送)

ハ、船焚用 三八、〇車

ニ、民需用 七〇九、九車

計 一六七五、四車 (内九、〇車ハ「コークス」檢送)

合計 一九八一、〇車 (内九、〇車ハ「コークス」檢送)

第三水運ニ據ル物資檢査計

一、大清河 貨 貨 民貨 計

天津、保定間 三〇〇 四〇〇〇 四五〇〇

保定、天津間 六〇〇〇 六〇〇〇

二、南運河 天津、德縣間 二五〇〇 三〇〇〇 五三〇〇

德縣、天津間	一、五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
德縣、臨清間	一、三〇〇	一、三〇〇	一、三〇〇
臨清、德縣間			
臨清、新鄉間			
新鄉、臨清間			
三子牙河			
天津、衡水間	四〇〇〇	四〇〇〇	四四〇〇
衡水、天津間			
衡水、邯鄲間	一、六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
邯鄲、衡水間			
計	八五〇〇	民竹二、〇〇〇	計二九五〇〇

第三實施ニ付スル注意事項  
最近ノ出貨ハ新舊正月休業ノ影響豫計ニ反シ甚大ナリシ爲兎角低額

ウ即ツ設備ニアルカ愈春暖ノ三月ニ入レハ一般商取引ノ活潑化、年  
度末決済關係物資ノ殺到ヲ豫慮セラルル外各地地味資小運搬力並ニ稼  
働率ノ好進ヲ以テ物資運送ハ全面的ニ股漲ヲ呈スヘク一日平均使用  
車三七五八車月間發送總數八六一九八六テラ大ナル計畫ヲ樹立セ  
リ深ニ石炭輸送計畫ニ於テハ移出炭礦動計畫完遂セントシ關係各  
部面非常最高ノ機能ヲ發揮スヘキ企圖ノ下ニ査定セリ  
本計畫ニ際シ長モ望ミヤルハ青島運雲港ヲ首メ各港灣荷役力増強寄  
費移移出炭港別振向量差別配船要請並ニ鐵道輸送力ノ接配調節ニア  
ルモ本計畫實施ノ良否ハ炭礦、鐵道、港灣、配船各部門ノ圓滑ナル  
一貫作業ノ實施如何ニカカルモノニ付運送ノ連絡ヲ察ニシ一部面ノ  
障礙ヲ以テ果シ他ニ及スカ如キ事ナキヲ期セラレ候  
尙石炭以外ノ一般物資輸送ニ對シテモ陸送ノ逼迫敏上ノ狀勢ニアル  
ニ付キ計畫對策一〇〇%ノ實現ニ努メ貨直並ニ輸送力(設定計畫)  
混攪發賣ヤシムルコトニキヤウ留意セラレ候

一月分の賃金総額を算出せしむるに於て

新舊正月ノ休業アル当月ノ賃金ニハ多大ノ期待ヲカケ奉サル馬車ノ  
下ニ當初ノ計算モ係各面ノ要請ヲ其ノママ受ケ入レ得致ノ加減  
査六〇為サス事ヲ衝役力立ニ稼働率ノ低下防止ヲ以テ計算完遂ニ努  
メシトコロ其ノ結果ハ計算對實績歩合ニ於テ軍需品九〇%庶用品九  
三%庶用品八六%合計八七%（石炭九三%其他八二%）ニシテ良績  
ト稱シ難シ之カ主因ハ正月用必需品ノ輸送手當長引ニ因ル衝動低額  
並ニ正月休業ノ影響殊ノ外甚大ナリシニ因ルモ地方委員會ノ要請量  
亦過大ノ説ハ要レス

當月總生産額中著筆スヘキハ山東、中興、湖泉、大向、各炭礦ニ於  
ケル正月休業ニ伴フ悪績也。克服シ良績ヲ取メタル努力及頃來不景  
氣續ケタル應用品ノ實價昇上顯著ナルモノナリ  
又テ前年同期ニ對スル成績ハ石炭一七%増其他一〇%減合計三%ノ  
増ナリ

第四章 産業經濟關係事項

一、勸業對策關係

一、部郡勸業對策委員會新設ノ件

部郡待遇増進新設ニ伴ヒ新ニ部郡ニ勸業對策委員會ヲ設置シ自派  
團管内（冀南道（濮陽、東明、長垣ノ各縣ヲ除ク）寧徳、臨漳、武  
安、林、涉ノ各縣）其管轄地區トシテ認可シタルヲ以テ近ク設立  
セララルル豫定ナリ。

二、華人ノ輸入包含加入ニ關スル件

在天津特別市華人ノ入業者ノ天津日本商人團總組合加入ニ關シテ  
天津特別市長ヨリ照會アリ加入資格審査委員失格後ノ團總組合  
加入等ニ付テハ慎重ヲ期スルコトトシ之カ華人業者ノ同加入ヲ認メ  
タリ。

三、北支南滿洲鐵道改定運賃變更ノ件

從來滿洲鐵道ハ天津清水部院ニ於テ方面管轄示下ニ之カ運賃ヲ定

進シ來リタル處ヲ豫測シ豫算入國稅金合賦額ト共ニ一二月分額  
約量ノ豫水部院ヘ完納シ俟テ三月分ヨリ與亞院指示ノ下ニ左組合  
ニ於テ取次フコトトナレリ。

三 貿易關係

一 滿洲北支問題 陸軍支那整理東京會議ノ由  
滿洲北支ノ實際支那整理ニ於テ本年一月二十五日ヨリ二月八日  
ニ至ル間東京ニ於テ主トシテ金鑛院ノ建議ニ依リ會議調議セラレ  
大要左ノ如ク決定セラレタリ  
依テ本決定事項ハ昭和十六年度日清支貿易計盤ニ附加計上セラレ  
ヘキモノナルモ速ニ實施ヲ期スル爲本年三月ヨリ實行ニ移サハル  
コトトナレリ。  
尙之カ滿洲ノ發行方法及價格數量等ノ點ハ具體的取極メヲ必要ト  
スル爲現地總領事ヲ加ヘ現地金鑛院ニ對テ決定スル豫定ナリ。  
本會議ハ中央側金鑛院、鐵道省、大藏省、商工省、外務省、與亞院

滿洲事務局各關係官、滿洲側、與亞院、滿洲國政府、東京局各關係  
官、北支側ヨリハ多田部隊關係官（笠原參謀長、有末、幸道、宮  
本各參謀加藤主計少佐）及與亞院滿洲總領事、財務官室各關係官  
出席ス

左記

一 滿支實際收支調整ニ關スル方針

滿洲北支ノ實際收支ハ總額ヲ保持スルコトヲ目標トシ已ムヨ  
得スルニテ生スルコトアルヘキ不均衡ハ日滿支三對ノ公平ナル爲  
ニ於テ之ヲ調整ス

要領

(一) 昭和十六年度滿洲北支ノ實際收支ニ對テハ別紙計盤表ニ依  
ルコトトシ右滿洲國ノ對滿洲北支總額過リ可及的遠ニ調整スル

方針。以テ昭和十六年度本邦對滿支貿易計畫ノ決定ニ至ル迄  
日滿兩領ハ差替リ本年三月以迄左ノ通商費スルコト  
①本邦ハ毎月天價價差格々五〇〇千圓ニ相當スル増額  
添スルコト

(四)本邦ノ對滿貿易ハ右項通商ノ半ニ減少スルコト

(二)昭和十六年度本邦對滿支貿易計畫ノ決定ニ當リテハ別紙計畫表  
ニ依ル通商支拂及前號ノ通商狀況ニ依リ計畫ノ上之ヲ增加  
計上スルコトトシ、本邦對滿支貿易計畫ノ決定ニ當リテハ左ノ如ク  
本邦對滿支貿易計畫ノ決定ニ當リテハ左ノ如ク

(三)貿易計畫決定ニ至ル迄累積セラルヘキ舊債ニ付テハ左ノ如ク  
處理スルモノトス

(四)舊債中九千萬圓ハ昭和十六年度ヨリ三箇年間に等分償還ス  
ルモノトシ之ヲ第一等ノ通商計畫北園ニ依テ償還計畫ニ計上  
ス但シ昭和十六年度分ノ償還ニ付テハ本年三月ヨリ之ヲ償

行ス

(一)右ノ通商ノ償還ニ付テハ別途選クモ昭和十六年度末迄ニ金  
圓資金ニ充テラルモノトス

(四)本邦對滿支貿易計畫ノ決定ニ當リテハ別途決定  
セララルヘキ對滿供給資金計畫ニ計上シ之カ確保ヲ圖ルモノト  
ス

備考

前記三四〇〇千圓ニ相當スル本邦對滿支貿易計畫ノ決定ニ減少  
スヘキ對滿輸出ノ種類及金額ハ別途選クモ昭和十六年度末迄ニ償  
還スルモノトス



昭和十六年度 華北支那支計表

(單位 千圓)

昭和十六年度小樽北支店際支計表 (單位 千圓)

支		取	
一、貿易外支拂		一、貿易外受取	
若力募集金	二八〇〇〇	(1) 再出分	三三〇〇〇
若力資金	三六〇〇〇	(2) 粟	八三〇〇〇 屯
一級	二四〇〇〇	高粱	一〇〇〇〇〇 屯
計	八八〇〇〇	玉黍蜀	六八〇〇〇 屯
二、貿易上支拂		黄大豆	五〇〇〇〇 屯
石炭	一五五〇〇〇 屯	黒大豆	五〇〇〇〇 屯
アソベ	三三〇〇 千枚	綠豆	三〇〇〇〇 屯
石膏	一〇〇〇〇 屯	稅木	一七〇〇〇 千圓
シラス	二〇〇〇〇 屯	紅松	七五〇〇〇 屯
鮮魚介	一七〇〇	燐寸用粉	一〇〇〇〇 屯
蔬菜俵魚	五〇〇〇	罎注	二〇〇〇〇 本
其ノ他雜品	二四〇〇	マグネシヤ	三三三〇 屯
三、小計	三三八三〇	滑石	四七〇〇 屯
		大豆油	三三〇 升
		大豆粕	二八〇〇〇 屯
		其ノ他	四七六〇
		(2) 小計	一七八〇〇
		計	九九二〇元
		受取總計	一三三二〇元
		支拂總計	一三八三三〇

備考 石炭ニ付シテハ運賃其ノ他ノ諸掛ハ商標内ニ於テ支拂フコト  
トトシ其ノ盟價ヲ計上セリ

裏面白紙

三滿洲北支間國際收支調整ニヨスル也

昭和十六年二月一日企業院及係屬會議決定滿洲北支間國際收支調整ニ  
ヨスル也

備考ニ依ル細部事項ハ左記要領ニ依リ之ヲ實施スルモノトス

左記

(一) 本邦對滿洲北支間國際收支調整中

本邦ヨリ滿洲北支間國際收支調整セラルヘキ物資三三〇〇千圓ノ品目及

ビ金額ハ別表第一ニ依ルコト

(二) 滿洲對本邦國際收支調整中

本邦ノ對滿洲出品ノ滿洲北支間國際收支調整セラルベキ物資三三〇〇千圓  
ノ品目及金額ハ別表第二ニ依ルコト

(別表第一)

比支句日長ヨリノ首長等上長等

Faint table with multiple columns and rows, likely containing names and titles of officials. The text is mostly illegible due to fading.

Faint table with multiple columns and rows, likely containing names and titles of officials. The text is mostly illegible due to fading.

(別表第一)

北支向日本ヨリノ増産品内譯表

品名	單位	數量	單價 (天澤0F)	總額
硫菜及果實	石	5000	9600	16500
優良種子 種 ケナフ種子	噸	20000	3100	30000
砂糖(氷砂糖ヲ含ム)	噸	20000	3100	62100
バター	樽	2000	7476	15000
清酒	樽	2000	7476	15000
油脂及同製品 (主トシテ蠟燭)	斤	932	10500	10000
燈油	斤	932	10500	10000
石鹼	斤	932	10500	10000
化粧用品 (主トシテ日用品)	箱	6369	4082	26000
除蟲菊及同製品	箱	7564	529	4000
工業藥品 (主トシテ農藥用品)	箱	792	13636	3000
藥品	箱	792	13636	1000
信箋	箱	2726	541	1300
綿織絲及綿織絲 (純ブラケット タオルヲ含ム)	反	222161	3601	8000
毛織物	百疋	96	52100	5000
絹織物	百疋	1	673	3000
人造絹織物	百疋	13372	12127	955
人造絹織物	百疋	13372	23433	30000

裏面白紙



(別表第二)

北支向滿洲國ノ發售品内對表

品名	單位	數量	單價 (天澤C.F.)	價額
麥酒	打	二九〇八三	一八九一	五五〇
石				四六〇〇
化粧用品				一〇三〇
夏				六三〇
絹織物	匹	一九〇三二	一四一、二七	二六九〇
人絹織物	千方碼	九三三二	七五四三二	七〇五〇
布帛製品	匹	一一四四二四	一三四二	一六五〇
スフ織物				三〇五〇
吳服類				一五〇〇
絹手巾	打	一四三九三	一〇四二	一五〇〇
タリヤス製	打	九六二七三	一六一〇	一三三〇
帽子及帽	打	六二五四七	一三一	八二〇
身邊裝飾品				一二七〇
可ム織製品				三五〇
花毯及壓				一三〇
ソフツシ				二五〇
ソフツ及向部分品 (鐵道及山用除ク)				五五〇
玩具				三五〇
茶	一〇〇封底	六六四七	八二、七四	五五〇
世帯道具 (金屬製品)				三三五〇
磁器				三五三〇
陶器				一六二〇
合計				三、四〇〇

備考 一、數量及單價ハ概算トス

裏面白紙

支那		滿洲		蒙疆		華北		察哈爾		綏遠		熱河		遼寧		吉林		黑龍江	
品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量	品名	数量
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

三 滿洲、北支間對際收支調整細部ニ關スル現地關係當局申合  
 昭和十六年二月一日企畫院ニ於ケル「滿支對際收支調整ニ關ス  
 ル件」ノ決定ニ基キ之カ細部事項左記ノ邊申合ヲ爲ス

記

- (一) 輸出入物品ニ關スル件  
 滿洲及北支ノ輸出品ニ關シテハ表第一及第三ヲ基準トシ  
 テ改メテ現地ニ於テ協議ヲ爲スモノトス
- (二) 滿洲州再輸出ニ關スル件  
 關東州再輸出額發ニ六〇〇〇千圓ニ關シテハ中央ニ於ケル製  
 易計畫ノ決定ヲ俟チ改メテ協議スルモノトス
- (三) 輸出入價格ニ關スル件  
 滿洲、北支間輸出入價格ニ關シテハ兩領ノ事情ヲ勘察シ別途  
 速ニ現地ニ於テ協議スルモノトス
- (四) 舊債還額ノ金圓資金ノ源資及昭和十六年度對北支支拂超過額



四〇〇〇〇千圓ノ資金調達ニ關シテハ別ニ記載スル處ニ據ル  
 (四)滿洲、北支間道路修築ニ關シテハ別紙要領ニ基キ速ニ整備ス  
 ルモノトス  
 前各項ノ内現地ニ於テ協定ヲ要スルモノニ關シテハ速クモ二月  
 末日迄ニ兩總領事係主事者會同ノ上協定ヲ遂ケルモノトス

(附表第一)

昭和十六年度當會期待其他雜品内訳表

品目	單位	數量	單價	價格	備考
耐火煉瓦	千圓	四六〇〇	一〇〇	四六〇	
木材パルプ	千圓	四九〇〇	三〇〇	一、四七〇	
塗料類	千圓	一、〇〇〇		一、〇〇〇	
鍍金類	千圓	八三三		八三三	
工具類	千圓	一九七		一九七	
純ペンゾール	千圓	五	三〇〇	一、五〇〇	
硫化塗料	千圓	七六〇	一、六六七	一、二六七	
曹達灰	千圓	二、〇〇〇	一七〇	三四〇	
アモニオン油	千圓	五〇	一、三〇〇	六〇	

品目	單位	數量	單價	價格	備考
濱州特價質粘土	塊	二八〇	三〇	一四	
鐵鋼類格落品	"	三三〇〇	一八〇	六三〇	
シフタリ	"	一〇〇〇	三七五	三三五	
礎安	"	二一〇〇〇	二〇〇	四二〇〇	
カレオソト	"	三〇〇	八三	二五	
銑鐵	"	一、二〇〇	一五〇	一八〇	
炭藥	千圓	三〇〇〇	〇	二〇〇〇	
其他				四七三三	
小計				一七八〇〇	

(附表第二)

昭和十六年度北支對滿供給品內譯表

品名	單位	數量	單價	價格	備考
燒紙				二〇〇〇	
藥草				二〇〇〇	
其他雜品				三三〇〇	

三事業審査關係  
 本月中審査シタル事業許可左ノ如シ  
 ノ工業關係

社名	事業目的	出願人	資本金	處置	條又ハ理由
同業窯業工廠 開設營業類ノ 件	煉瓦・瓦 耐火物、陶磁器、 石炭製造販賣	山西 滎陽泉新市街 九如 江原定 親 王 久 謙	一万五千圓 認 可		
薬工品工場設 置願ノ件	薬工品ノ製造、加 工輸出	天津日界須磨街 北支薬工品株式會 社 小口 只 造	十万 圓 認 可		
右 全	右 全	天津日界壽街 新東公司 秋月 侯勢松	十万 圓 認 可		
大産起毛織設 置願ノ件	メリヤス生地及綿 布ネル毛布等ノ加 工業造販賣	天津三門橋橋大胡 向 三 河 洋 三	三万 圓 認 可		

2 鑛山關係

姓名	鑛名	鑛種	鑛場所在地	鑛主	出願人	資本金	處
關之川	鑛名更正	河北省密雲縣	子莊 大溝内山附近一 帶地方	加石鑛	北京東四牌樓六 條胡同 河及鑛業公司		

		日米商事株式 會社鑛金鑛造 了基設置原松	タオル製造工 場設置原ノ松				
		有金、バルブコウ ク類ノ鑛造	タオル製造販賣				
		天津日界祖寄 河野洋吉	大阪市東道安土町 天野吉次				
		六万三千圓 認可	三万 圓 認可				

2. 表ノ包

名	事業目的	出願人	資本金	認價	募集又ハ出願
上辰之助自請 石巻販賣	石巻販賣	北宮司法部前所顧問 上辰之助	二万円	認可	
東北房産股份有限 株式會社 平手勘次郎	東北房産股份有限 株式會社 平手勘次郎	東北房産股份有限 株式會社 平手勘次郎	五百万円	認可	
中央市街株式 會社 伊藤泰一	中央市街株式 會社 伊藤泰一	中央市街株式 會社 伊藤泰一	二十万円	認可	
清酒口造販賣	清酒口造販賣	天龍河北三 赤野七三三吉	三万円	認可	

六	第二種自動直營 業許可願ノ在	福昌公司北京支 店設置願ノ在	一部商會北京支 店木工部營業願 ノ在
全右	貨物運送業	土木建築請負業 建設業・食品品外 販賣	家具並木工類ノ製作 販賣
全	石門市正東街十六號 前田秋生	北京東城東交民巷 大和街 青山 雲五郎	北京東交民門東河沿 末次建助
四万五千圓		三十万圓	五万圓
認可	認可	認可	認可
依港木初波	濟南市三馬路緯十路		

奉天會社大丸北 京支店所設置 ノ公	一、運送品ノ取次 集金ノミ	北京崇文門内孝順 胡同	八千圓認 可	一般商品ノ取 次集金ノ公
信託千歳 ノ公	小麥粉、麵粉、糖、 ノ取次運送販賣	北京四國區中區下 櫻澤千歳	三十万圓認 可	
合資會社日本 鐵道材料株式會 社ノ公	鐵道材料ノ製造販賣 株式會社ニ變更	天津日弁孝日街 佐藤 源太郎	五十万圓認 可	
石油株式會 社 天津出張所設置 ノ公	石油類ノ輸入及運 送	天津日弁街 佐藤 敬徳	三十万圓認 可	

合資會社義公 司鐵道變更ノ 公	硝子器製造販 賣	天津日弁街 柴坂キ七	十万圓認 可	
六合堂吉農場 開設ノ公	農場經營	北京内一區廣德胡 同 三田 鐵造	十万圓認 可	
昌和洋行北京出 張所營業種目追 加ノ公	ゴム製品、油脂類 硝子器具、人力車用 品消火ポンプ等	北京内一區八面槽 川上 善造	十万圓認 可	





